

蒼 souten 天

19年度 岩永和子さん追悼号

発行日 2019年8月9日

社会福祉法人 青空会

生活介護事業所あおぞら

〒852-8143 長崎市川平町 1132-2

TEL 095-843-9001 FAX 095-843-8203

グループホームまんでん

〒852-8143 長崎市川平町 1132-26

TEL 095-865-7570 FAX 095-865-7571

メール aozora@sa8.gyao.ne.jp

ホームページ <http://hwsa8.gyao.ne.jp/aozora/>

◎はじめに

酷暑の候、皆様にはご健勝の事何よりと存じます。

さて、この度は悲しいご報告をしなければならなくなりました。去る7月15日、私たちの大切な仲間である岩永和子さんがお亡くなりになりました。突然の、早すぎるお別れでした。もう会えないということが信じられず、気持ちの整理がつきません。

仲間たちと一緒に色々な行事へ参加することが大好きだった和子さん。本日8月9日がお誕生日ということもあり、写真やメッセージ等とともに在りし日の姿を偲び、追悼号として皆様にお届けしたいと思います。



◎告別式

皆で参列させていただきました。両手をしっかりと合わせる方、深々と頭を下げる方、瞼に焼き付けておこうと真剣にお顔を見つめる方、嗚咽を漏らす方、それぞれに静かに胸にある思いを表していました。皆で作った折鶴やメッセージカードと、キャンドルを置かせていただきました。和子さん、喜んでくれたでしょうか？

告別式での弔辞と、喪主であるお父様のご挨拶をご紹介します。



弔辞

社会福祉法人青空会 理事長 宮嶋健一

和子さん。10年前、あなたと会った最初の時から、なぜか私を健太郎兄さんと呼んでくれましたね。健太郎の名前は、私が孫の名前にとひそかに願っていたのですが、息子たちはつけてくれませんでした。でも、あなたがそう呼んでくれるので、いつも嬉しく思っていました。

あなたは、時々あなたの頭に入り込んでくる何者かと戦っていました。簡単にKOする場合がありますし、苦戦する場合も多くありましたが、必ず勝ってくれました。今度は、難敵過ぎたのでしょうか？力尽きるには早すぎたと思います。私たちの手助けが足りなかったと、悔やまれてなりません。申し訳ない気持ちでいっぱいです。

しかし、あなたは私たちにたくさんのことを、残してくれました。その一つ一つを思い起こしながら、あとに残った仲間と、またこれから加わってくださる仲間の手助けになるよう、努力してまいります。あえて、安らかにお休みください、とは申しません。そのシャープな頭脳と眼力で、しっかり見守ってくださるようお願いいたします。

健太郎兄さんより

お父様ご挨拶

故人の父の岩永忠康でございます。本日はご多用の中ご会葬を賜り、誠にありがとうございました。お陰様で、本日の告別式をつつがなく執り行うことができました。

生前、娘は関係者の皆様の温かい介護ならびに生活介護事業所「あおぞら」で10年間、グループホーム「まんてん」で3カ月間にわたり職員や通所者の皆様に支えられて生活していたことに深く感謝申し上げます。

娘は、幼稚園・小学校の低学年まで水泳やピアノを習いながら学校に通う素直で元気な子でしたが、小学校3年頃から情緒不安定となり病院の先生と相談しながら自宅療養をしていました。その間ほとんど妻がつきっきりで自宅看護していましたが、29歳になって「あおぞら」で共同生活をさせて頂いていました。そして今年4月から「まんてん」でもお世話になっていました。

三日前、突然に他界しました。死因は急性心臓死ということで、満39歳11ヶ月の短い生涯でした。逝去直後、生前に見せたことがない穏やかで優しく可愛い美しい表情をしていたのが今でも鮮明に思い出されます。さらにドライブや外出が大好きだった娘をもっと多くドライブや外出に連れて行けばよかったと後悔の念に駆られています。今でも逝去したとは信じられません。今でも「和子ドライブに行くよ」と言ったらすぐ喜んで車に乗り込んでくるような気がします。

本日は、皆さまにお見送りをして頂き、きっと娘も喜んでいと思います。お世話になった皆様に、心よりお礼を申し上げます。併せて残された遺族にも故人同様のご厚情をお願い申し上げ、お礼の挨拶と致します。本日は、ありがとうございました。

令和元年7月18日

◎わたぼうしコンサート入選！！

2015年、ウォーキング中の和子さんとおしゃべりに出ていた言葉を文章にし、応募して入選した詩『お父さんが帰ってきたらさ』をご紹介します。大好きなお父さんとの楽しさが伝わってくる、和子さんの休日のお話です。

入選した詩には曲がつけられ会場で披露されました。



おとうさんが帰ってきたらさ

入選曲

作詩 岩永和子

作曲 野崎和俊

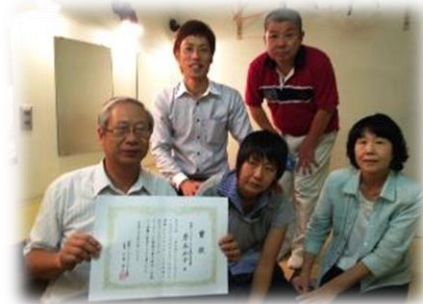
おとうさんが帰ってきたらさ
タコ釣りに行くとさ

サニーピアに寄ってアジは買っていくとさ
せんたく村のとなりのサニーピアに寄っていくとさ

水とコーヒーと羊かんば持っていくとさ
タコばとってきたらみんなでたぶとさ

おとうさんが帰ってきたらさ

おとうさんが帰ってきたらさ



さらに、**国際ソロフチミスト賞**を受賞しました！！

◎連絡帳より

連絡帳に毎日記載されていた、お母様の短歌をいくつかご紹介したいと思います。

歌ったりしりとりしながら神社まであおぞら仲間の楽しきウォーク

久しぶり四人で行きし外食の最後に椅子を揃える娘

母と子のお風呂上がりの一場面苦楽もたらず娘に感謝

襟首の小麦の色が物語る夏の終わりのポスティング活動

当日は静かであるかバタバタか見当つかずただ祈るのみ

満足な表情見届け耳かきの痺れた膝をそっと外せり

満開の桜の中に子は巣立つ幸多きこと祈りてやまず



2014年あおぞらの地鎮祭にて

◎思い出

赤水公園



ドライブ好きの和ちゃん
イチオシの公園です！
とてもいい景色でした。

マーメイド



水中で華麗なターンを
決める和ちゃん。
プールはもちろん、温泉
でも！？

一生懸命



ローソク削りやアンダリアのお仕事や、絵
画や音楽、ダンスも大好き♪やるときは
とことんやります！！

ゆうあいスポーツ大会



パン食い競争や宝探し、5
0m走にも出場しました。
そういえば、和ちゃんの
走りに追いつけなくて、ス
イカを食べられてしまっ
たこともあったなあ…。

廊下で一緒に
過ごしたね

台風や雪の日、
一緒に遊んだね。

クリスマス会



お揃いの衣装で、テレサ
テンの歌を披露しました。

和ちゃんとの最後の思い出…
振り向いた瞬間に唇をうばわれた…
私のファーストキスを(笑)

夜眠れるようにとたくさん近所を
散策しましたね。山登りも。
涼しい顔で歩いていたなあ。

「ピコピコポン」
「旅人のうた」
和ちゃんに教えて
もらいました♪

和ちゃんが目を瞑って歩いていることに気付
けず、川に落ちたことが…。側に付いていな
がらごめんなさい。教訓となっています。

Tシャツを真似て
ペコちゃんポーズ♪

花より団子！？



行事をととても楽しみにしていた和ちゃん。でも一番の
楽しみは、帰り道のアイスかな(●°o°●)

到底書き表しきれないほどの、沢山の思い出…。和ちゃん、ありがとう。